

ベビーカー

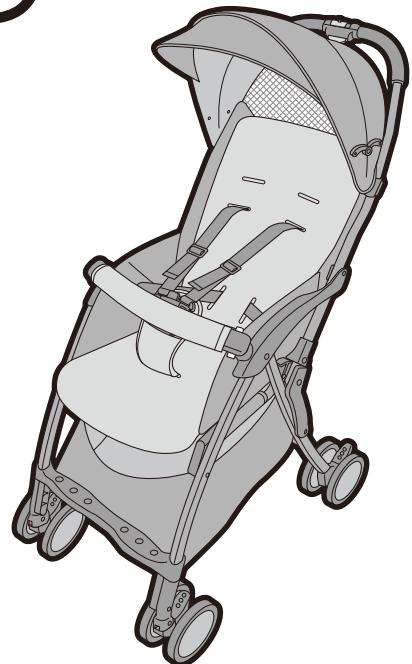
マジカルエアー クッション

取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この製品は生後7カ月※～36カ月(体重約15kg)までの乳幼児1人用ベビーカーです。

※ここでいう生後7カ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、7カ月を経過した乳児を指します。この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。

ご使用の前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。



SG安全基準B形

目 次

はじめに

ご使用前に	1
保護者の方へのアドバイス／SG基準について／本書の表示について	
ご使用上の注意	2～4
警告／注意	
製品を取り出した時に	5
製品の特徴	
各部の名称	6

ベビーカーの使用方法

ベビーカーの開き方	7
キャスターの使い方	8
ストッパーの使い方	8
お子さまの乗せ方	9
肩ベルトの高さ調節	11
リクライニングの角度調節	12
日除けの使い方	13

カゴの使い方	13
ベビーカーの折りたたみ方	14

縫製品の取り外し方法

フロントガードカバーの取り外し方	15
日除けの取り外し方	15
日除けの取り付け方	16
シートの取り外し方	17
シートの取り付け方	17

その他

日常のお手入れ	18
困った時	19
保管について	20
廃棄について	20
SGマーク制度について	20
保証とアfterserviceについて	21
保証書	22

- 本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- 本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- 製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合もありますので、あしからずご了承ください。

ニューウエルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

ご使用前に

保護者の方へのアドバイス

安全、快適にお使いいただくために

- ・ベビーカーの連続使用、長時間使用は避けましょう。
- ・お子さまに直射日光が当たらないように配慮しましょう。
- ・騒音や粉じんの多い人混みはなるべく避けましょう。
- ・振動や衝撃のかかりやすい段差や道路はできるだけ避けましょう。

SG基準について

・SGマークが表示されたベビーカーは、製品安全協会の規定で定められた、つぎのような基準を満たしています。(この製品は、SG安全基準B形合格品です。)

適用範囲	このベビーカーは、一般家庭を対象として、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する1人乗り用のベビーカーです。
形式の分類	B形 生後7カ月を過ぎるおそれありできる時期から使用できるベビーカー。
使用範囲	生後7カ月から36カ月まで
望ましい連続使用時間	座らせた姿勢：1時間以内
背もたれ角度	100°以上
車輪の外径	115mm以上

本書の表示について

「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
禁止図記号	表示の意味
🚫	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。
💡 アドバイス	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

ご使用上の注意

・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用の前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	お子さまが落ちるおそれがあります。 シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を外して使用しない。
	ベビーカーの中でお子さまを立たせない。
	お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。
	シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。
	路面の溝にベビーカーの車輪がはまり、前のめりになるなどしてバランスがくずれベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。
	排水溝の格子状のふた(グレーチング)や踏切など、幅の広い溝がある路面を通過する必要がある時は、溝に車輪がはまる場合があるので、注意しながらゆっくり押すこと。
	車輪がはまつた時は、前フレーム(パイプ)とハンドルを持って、はまつた車輪を引き上げてください。その際はベビーカー全体を持ち上げないでください。
	バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒するおそれがあります。
	お子さまを乗せたまま持ち上げない。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが転倒するおそれがあります。

二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。



ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

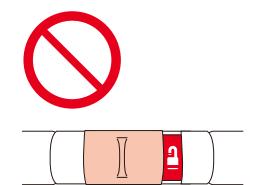
ご使用時は、開閉ロックが完全に下まで降りている事を確認する。



階段やエスカレーターなど大きな段差のあるところで使用しない。



必ずハンドルレバーロックをかけた上で使用する。



ベビーカーが後方転倒するおそれがあります。

カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかったりしない。



路面の影響も加わって、ベビーカー内の温度が高くなるおそれがあります。

気温が高い時や日ざしが強い時は、長時間使用しない。



お子さまの首にベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。

肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込み、フリーにさせないこと。またお子さまの体格に合わせて調節すること。



ベビーカーが破損し、ベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。

ハンドルに過度の荷重をかけない。



可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。

開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。



フロントガードを閉じる時は、お子さまの指や手足を挟まないように注意すること。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

- ・お子さまにベビーカーを操作させない。
- ・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎると、ベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。
- ・弊社サービス員以外はネジやナットなどの部品を取り外したり、分解・組立・改造をしない。
- ・シートを外した状態で使用しない。
- ・急激に力を加えたり、落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。
- ・お子さまの遊び道具として使用しない。
- ・電車などのご利用時には、無理な乗り降りはしない。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり大変危険です。



誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。
- ・ご使用前に、ベビーカー本体とシート、日除けが正しく取り付けられていることを確認してください。
- ・可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤をご使用ください。
- ・長期間ご使用されていなかったベビーカーを再度ご使用になる場合には、必ず点検とメンテナンスを行ってください。
- ・空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
- ・ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
- ・2台のベビーカーを連結して使用しない。
- ・前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
- ・ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方(時速約4キロメートル位の速さ)で押す。
- ・ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。砂などが入り車輪やキャスターがスムーズに回らなくなる原因となります。
- ・フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
- ・ベビーカー本体にはお子さまを乗せる目的とした市販のボードなどは取り付けないでください。破損の原因となります。
- ・カゴに重量5kg以上の荷物を入れない。
- ・保護者、介添者などが、ベビーカーに腰掛けない。
- ・荷物などの運搬のために使用しない。
- ・その他、お子さまを乗せる以外の目的で使用しない。
- ・バスの中では使用しないでください。
- ・本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- ・電車の中での使用について。
- ・本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、充分注意してご使用ください。
- ・雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
- ・風の強い時は使用しない。
- ・雷の時は使用しない。
- ・室内、火気の近く、高温になる場所ではレインカバーなどを使用しないでください。ベビーカー内部の温度が高くなりすぎるおそれがあります。
- ・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- ・その他、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

・段差を無理に乗り越えようとしてください。破損や故障の原因となります。

〈段差の乗り越え方〉

ハンドルを押し下げ、同時にアームレスト部を引き上げて乗り越えてください。

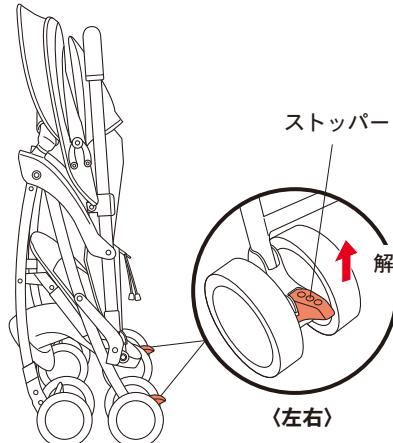


製品を取り出した時に

- ・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。 (P21参照)
- ・ご使用の前に、P22 「保証書」に次の項目をご記入ください。
①品番、ロット番号 (P6 「各部の名称」参照)
②購入日
③お客様のお名前、住所、電話番号
④販売店名
・レシート（領収書）を本書と一緒に保管してください。 (P21参照)

本体

- ・箱から取り出した時は折りたたんだ状態です。
- ・ベビーカーを開く時はP7を参照してください。



〈製品を取り出した時には〉

- ・ストッパーがロックされた状態になっております。
- ・ご使用の前にストッパーをロック解除してください。
(P8参照)



- ・ご使用の前にストッパーをロック解除してください。
(P8参照)

付属品



取扱説明書／保証書（本書）



- ・製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。お子さまがかぶったりして窒息するおそれがあります。

〈製品の特徴〉

- ・ハンドルは背面側固定式です。
- ・前後折りたたみ方式です。
- ・マグネットバックルを使用しています。
- ・車体を折りたたんだ状態で自立します。
- ・フレームには軽量なアルミパイプを使用しています。

各部の名称



〈シートベルト〉

・シートベルトは、肩ベルトと腰ベルト、股ベルトの総称です。

肩ベルト 腰ベルト

腰バックル

股ベルト

股バックル

フロントガード
カバー

フロント
ガード

ステップ

キャスター
ロックレバー

前輪

後輪

カゴ

日除け

日除けレバー

肩ベルト通し穴

シート

アームレスト

開閉ロック

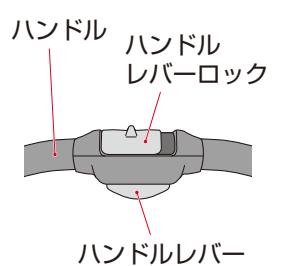
ストッパー

キャスター
ロックレバー

前輪

後輪

カゴ

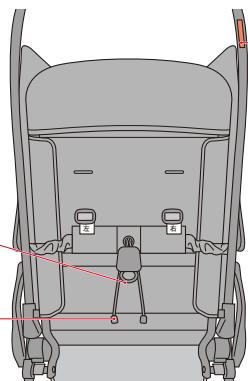


ハンドル ハンドル
レバーロック ハンドルレバー

〈背もたれ背面〉

リクライニングリング

リクライニングコード



品名・品番
ロット番号シール

〈保証書記入時にご参照ください。〉

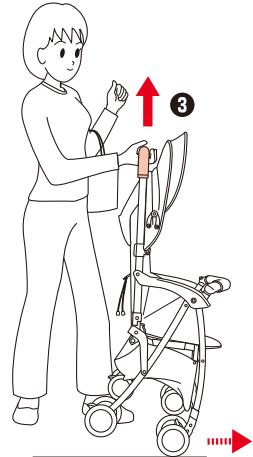
ベビーカーの開き方



- ・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
- ・お子さんにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

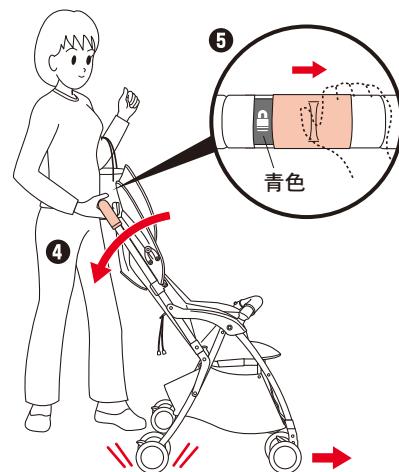
お願い

- ・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。
2~3回繰り返して操作してください。



〈ロックの解除〉

- ①ハンドルレバーロックを解除する。
(赤色が表示されます。)
- ②ハンドルを軽く下に押し付けハンドルレバーを握って押し込み、開閉ロックを解除する。



- ④そのままハンドルを手前に引いて開く。

- ⑤ハンドルレバーロックをかける。(青色が表示されます。)



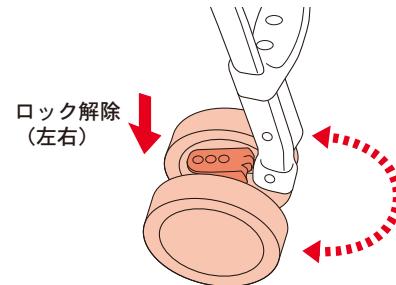
- ・ご使用時は開閉ロックが完全に下まで降りていることを確認すること。ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。



キャスターの使い方

〈キャスターをロック解除する場合〉

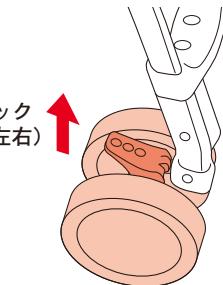
- ・キャスターを使用すると、平坦な路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズになります。通常はこの状態でご使用ください。



- キャスターロックレバーを下げ、ロック解除する。(左右)

〈キャスターをロックする場合〉

- ・凸凹道、坂道、傾斜地などの走行には一時的にキャスターを左右共ロックすると押しやすくなります。



- キャスターロックレバーを上げ、ロックする。(左右)

ストッパーの使い方



- ・お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右共ロックすること。
- ・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。
- ・ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。

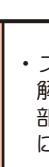


- ・お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーを左右共ロックしてください。

〈ストッパーをロック解除する場合〉



- 車輪のストッパーを上げ、ロック解除する。(左右)



- ・ストッパーを手でロック解除する場合は、矢印の部分で指を挟まないようご注意ください。

〈ストッパーをロックする場合〉



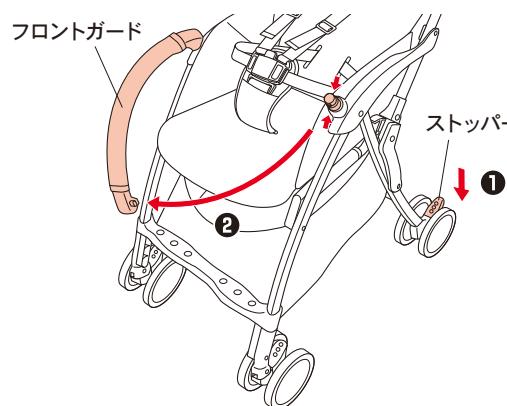
- ①車輪のストッパーを下げ、ロックする。(左右)

- ②前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する。



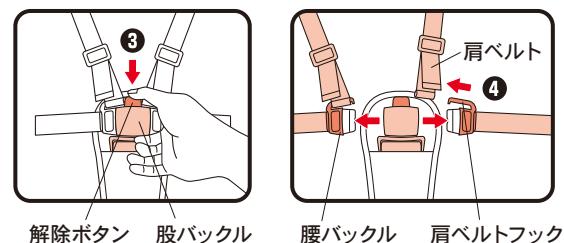
- ・ストッパーのロックがかかりにくい時は、ベビーカーを前後させて再度ストッパーを下げ、ロックしてください。

1 準備



- ①ストッパーをロックする。(左右)
②フロントガードを開く。

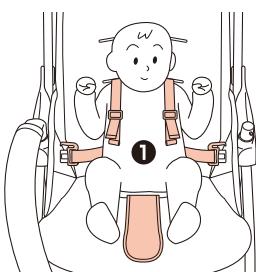
<シートベルトの外し方>



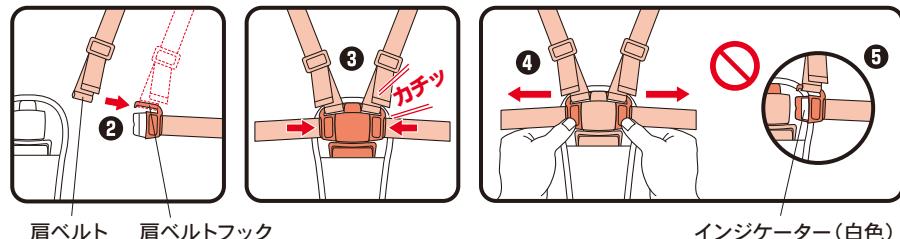
- ③股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。
(左右の腰バックルが同時に外れます。)
④肩ベルトを肩ベルトフックから抜く。(左右)

アドバイス
・股バックルの解除ボタンはお子さまが容易に操作できない強さに設定されています。シートベルトを外す際は、解除ボタンは最後までしっかりと押し込んでください。

2 お子さまを乗せて、シートベルトを締める



<シートベルトの締め方>



- ①お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せる。
②肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。(左右)
③腰バックルを腰バックルに差し込む。(左右)
(マグネットで腰バックルが引き込まれ、「カチッ」と音がしてロックします。)
④左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。
⑤腰バックルのインジケーター(白色)が見えていることを確認する。

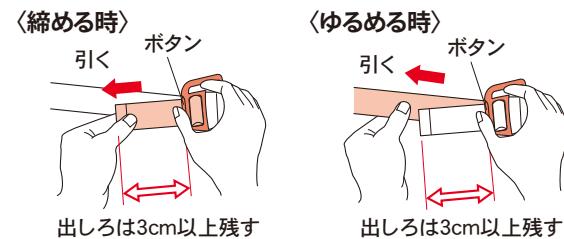
アドバイス
・バックルに異物の付着がないことを確認してからバックルを差し込んでください。
・バックルにベルトや布などが挟みこまれた場合は、一度バックルを外し、差し込み直してください。

警告

- ・シートベルトを締めた後は、左右の腰/バックルを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをするおそれがあります。
- ・肩ベルトは必ず肩ベルトフックに差し込んで使用し、フリーにさせないこと。肩ベルトがあお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
- ・バックルをとめる時に、お子さまの手足や衣服を挟まないように注意してください。
- ・シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思われる事故につながるおそれがあります。
- ・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎるとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。

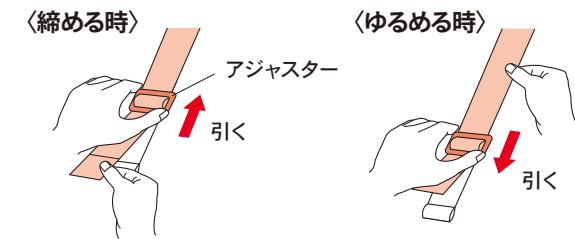
3 ベルトの調節

腰ベルト



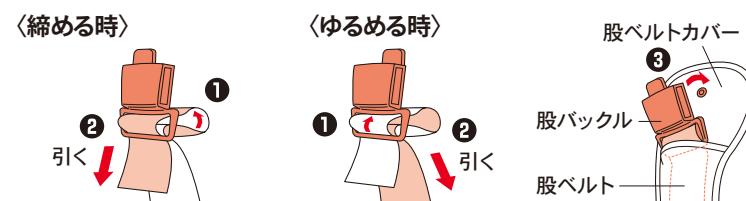
- ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。

肩ベルト



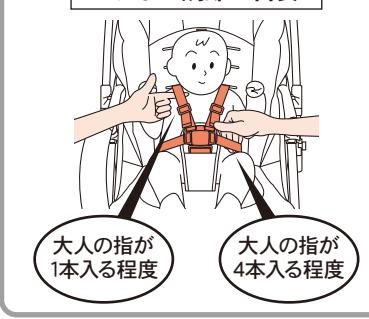
- アジャスターを引き、長さを調節する。

股ベルト



- ①ベルトを矢印の方向に送り、
②ベルトを引き、長さを調節する。
③ベルトの調節後、股バックル裏のホックを股ベルトカバーにとめる。

ベルトの調節の目安



警告

- ・肩ベルト、腰ベルト、股ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。
肩ベルト、腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
- ・腰ベルトの末端の出しろ(\longleftrightarrow 部分)は必ず3cm以上残す。
- ・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。
- ・フロントガードを閉じる時にお子さまの指を挟まないよう注意すること。
- ・フロントガードを装着した後、確実にロックされているか引っ張り、確認すること。
- ・お子さまを乗せたまま、フロントガードを持ち上げない。

4 最後に



- ①フロントガードの端部をしっかりと持ち、差し込み部に向かってまっすぐに差し込む。
②ストッパーのロックを解除する。

バックルについて

・本製品のシートベルトのバックル(股バックルおよび腰バックル)には、マグネットが使用されています。

警告

バックルのマグネットがペースメーカーの作動に影響を及ぼすおそれがあります。

- ・ペースメーカーをご使用のお子さまを本製品に乗せないでください。
- ・ペースメーカーをご使用の方がベビーカーを操作される場合は、ペースメーカーの植込み部位をバックルに近づけないでください。

注意

- ・クレジットカードなど、マグネットの影響を受ける可能性のあるものをバックル付近に近づけないでください。
- ・シートベルトを外した状態でベビーカーを折りたたんだり、ベビーカーを放置したりしないでください。バックルが破損したり、バックルのマグネット部分に異物が付着し確実にロックできなくなったりするおそれがあります。

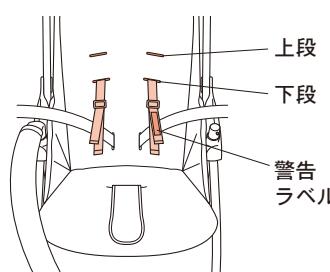
肩ベルトの高さ調節



・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

〈肩ベルト位置〉

- ・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。



〈肩ベルトの目安〉

- ・肩の位置より下段に通す。
- ・肩ベルトの位置は以下の2段階に調節してください。



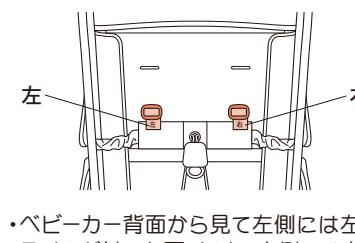
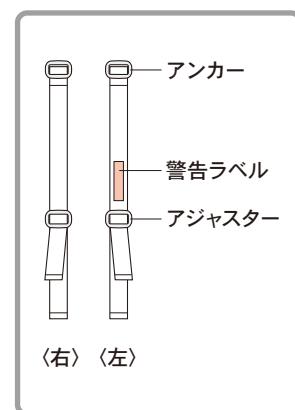
月齢(体格)の目安	肩ベルト通し穴位置
18カ月～36カ月	上 段
7カ月～18カ月	下 段

※上記表示は目安であり個人差があります。

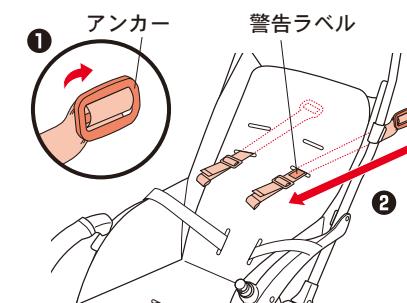
- ・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようして使用してください。
アドバイス
・肩ベルトがねじれていなか確認してください。

肩ベルトの高さ調節のしかた

- 股バックルを押し、肩ベルト、腰ベルトを外す。(P9「準備」③参照)

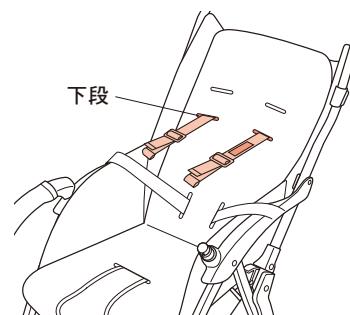


・ベビーカー背面から見て左側には左のラベルが付いた肩ベルト、右側には右のラベルが付いた肩ベルトを通します。

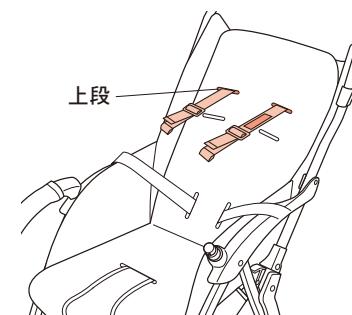


- ①肩ベルトのアンカーをひねる。
②背もたれの肩ベルト通し穴から肩ベルトを抜く。(左右)

〈下段を使用する時〉



〈上段を使用する時〉



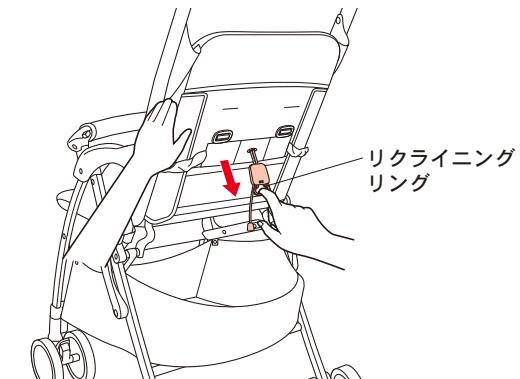
- ③肩ベルトを使用する段に通す。(左右)

- 肩ベルト高さ調節後、2～3回引っ張り、肩ベルトが外れないことを確認する。

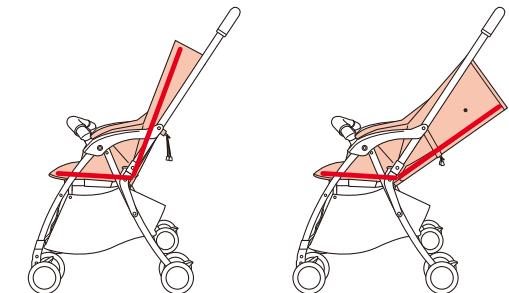
リクライニングの角度調節

背もたれを倒す時

- ・肩ベルトをゆるめる。(P10参照)



- ①片方の手でお子さまを支えて、リクライニング リングを引く。



- ②リクライニングリングを引きながら背もたれを倒し、角度を調節する。

- ・リクライニング調節後、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。(P10参照)

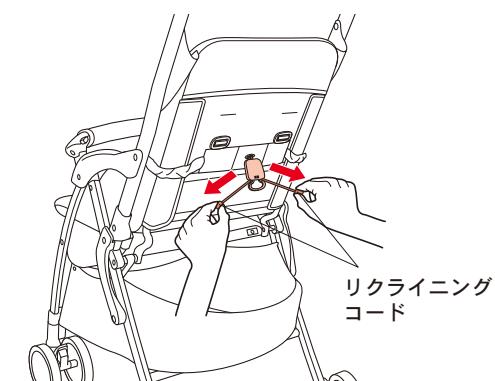


- ・お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
- ・リクライニングの調節後は、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。肩ベルトや腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。



- ・ベビーカーを押しながらリクライニングの調節をしない。
- ・お子さまを乗せたままリクライニング調節する時は、急に角度が変わらないよう注意する。
- ・お子さまを乗せたまま背もたれを倒す時は、お子さまの体重を支える。

背もたれを起こす時



- お子さまの体重が背もたれにかかるない状態で、リクライニングコードを左右に引く。

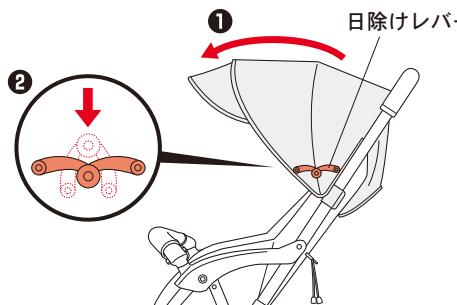
- ・お子さまの体重を背もたれにかけた状態では、起こすことができません。

日除けの使い方

警告

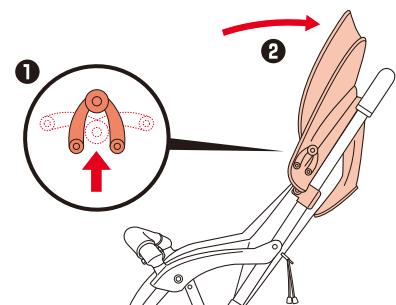
- 日除けを開いたり折りたたんだりする時は、お子さまが接触した状態では行わない。可動部でお子さまの指や手を挟むおそれがあります。

開き方



- ①日除けを前方に開く。
②日除けレバーをロックする。(左右)

閉じ方

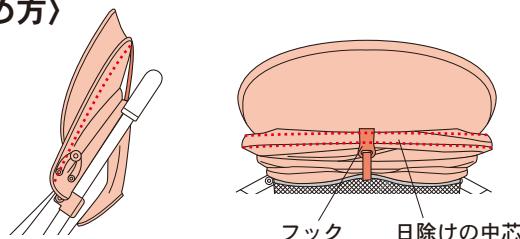


- ①日除けレバーを折りたたむ。(左右)
②日除けを閉じる。

日除けのまとめ方

- 日除けを折りたたんだ後、日除けをフックでまとめておくことができます。

〈まとめ方〉

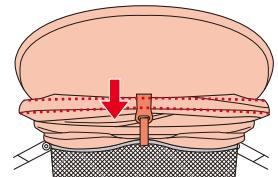


- 日除けの中芯(赤点線部分)をフックでとめる。
日除けの中芯の中央部分でとめてください。
(赤点線部の日除けの中芯以外を固定しないでください。)

注意

- フックに荷物などをかけない。
- 指定された日除けの中芯以外ではフックを固定しない。

〈取り外し方〉



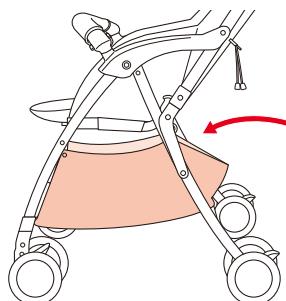
- フックを持ち、日除けの中芯(赤点線部分)を引いて取り外す。



アドバイス

- 使用しないときはフックをポケットに収納できます。

カゴの使い方



- カゴの上部から荷物の出し入れをする。
- カゴは取り外さないでください。

アドバイス

- 荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。

注意

- カゴには鋭利な形状をした物を入れない。
カゴが損傷することがあります。
- 重量5kg以上の荷物を入れない。
- ベビーカーを折りたたむ時は荷物を取り出す。
- カゴには貴重品などを入れない。

ベビーカーの折りたたみ方

警告

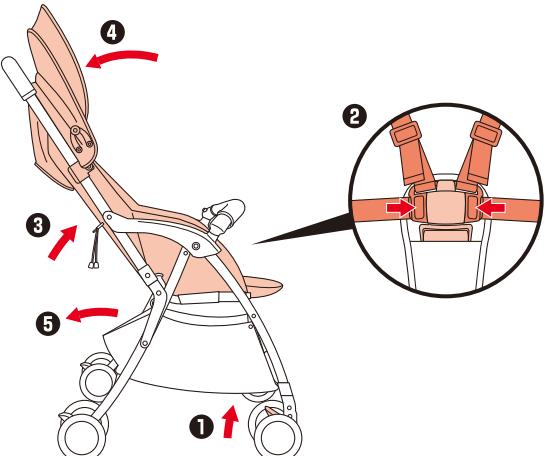
- 開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
- お子さんにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

注意

- シートベルトを締めてからベビーカーを折りたたむこと。シートベルトが開閉ロック部分に挟まってベビーカーが折りたためなくなったり、バックル破損やバックルのマグネット部分への異物の付着のおそれがあります。

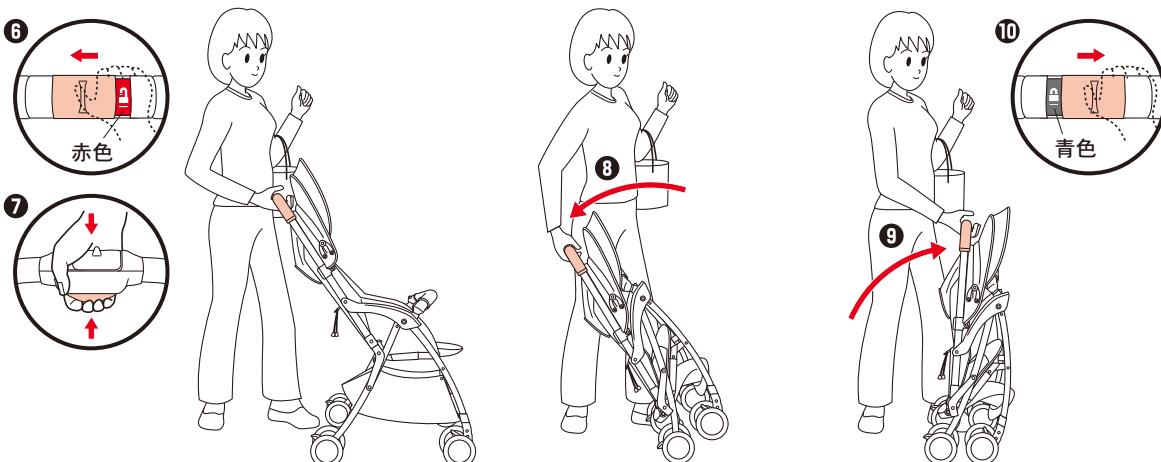
お願い

- 梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。
2~3回繰り返して操作してください。



〈折りたたむ前に〉

- キャスターをロックする。(P8参照)
- 肩ベルト、腰ベルトを股バックルに差し込む。(P9参照)
- 背もたれを起こす。(P12参照)
- 日除けを閉じる。(P13参照)
- カゴから荷物を取り出す。



〈ロックの解除〉

- ハンドルレバーロックを解除する。
(赤色が表示されます。)
- ハンドルレバーを握って押し込み、開閉ロックを解除する。

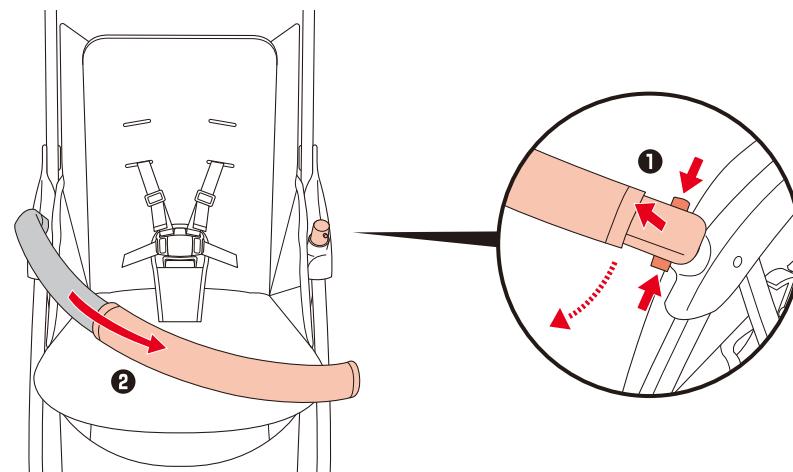
アドバイス

- 片手で折りたためない場合は、もう一方の手でフロントガードを持って折りたたんでください。

〈折りたたむ〉

- 握ったまま、車体を後ろに傾け、折りたたむ。
- 車体を起こす。
- ハンドルレバーロックをかける。(青色が表示されます。)

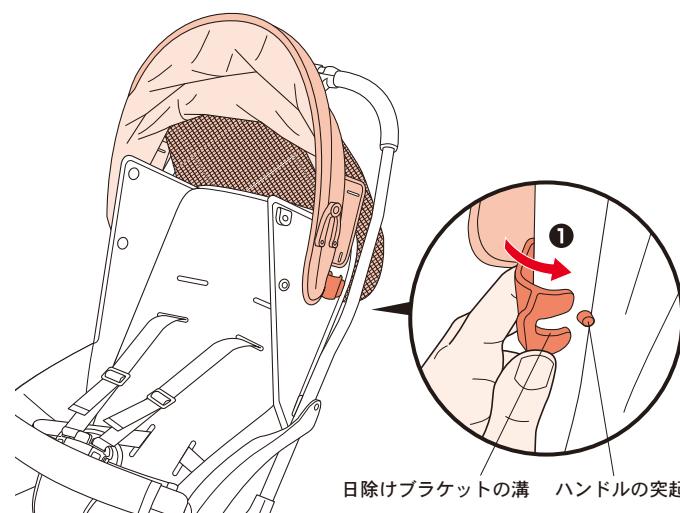
フロントガードカバーの取り外し方



- ①フロントガードを開く。
・内外のガードボタンを押して開く。

- ②フロントガードカバーを抜き取る。

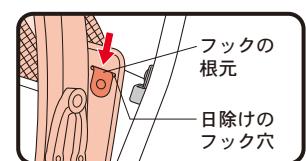
日除けの取り付け方



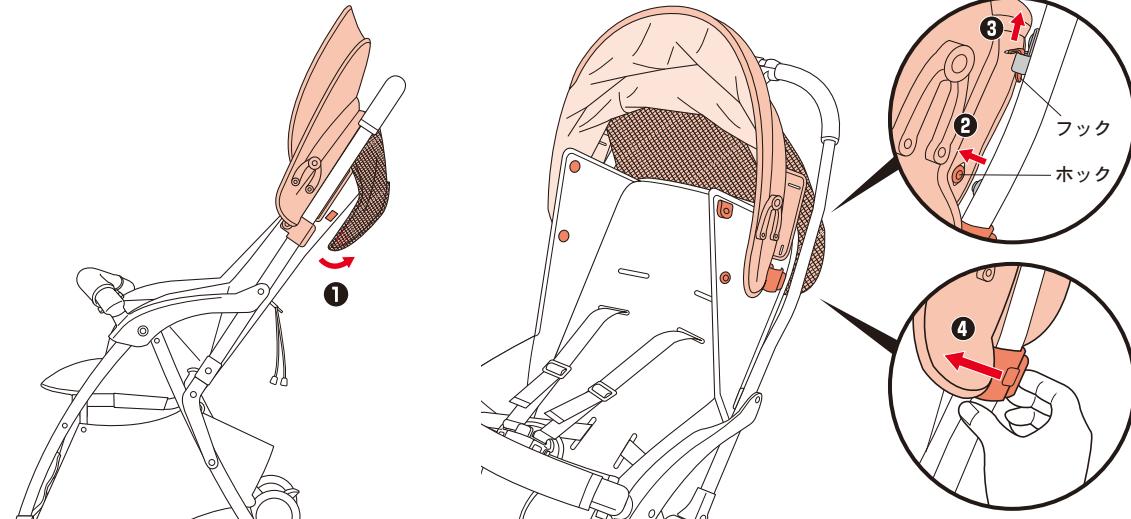
- ①日除けブラケットの溝をハンドルの突起部分に
合わせて押し込み、取り付ける。(左右)

- ②日除けのフック穴に背もたれ横側のフックを通す。
③日除けのホック穴を背もたれ横側のホックに通す。

 アドバイス
・背もたれ横側のフックを日除けのフック穴に根元まで通してから
ハンドルのフックにかけると、ホックがとめやすくなります。

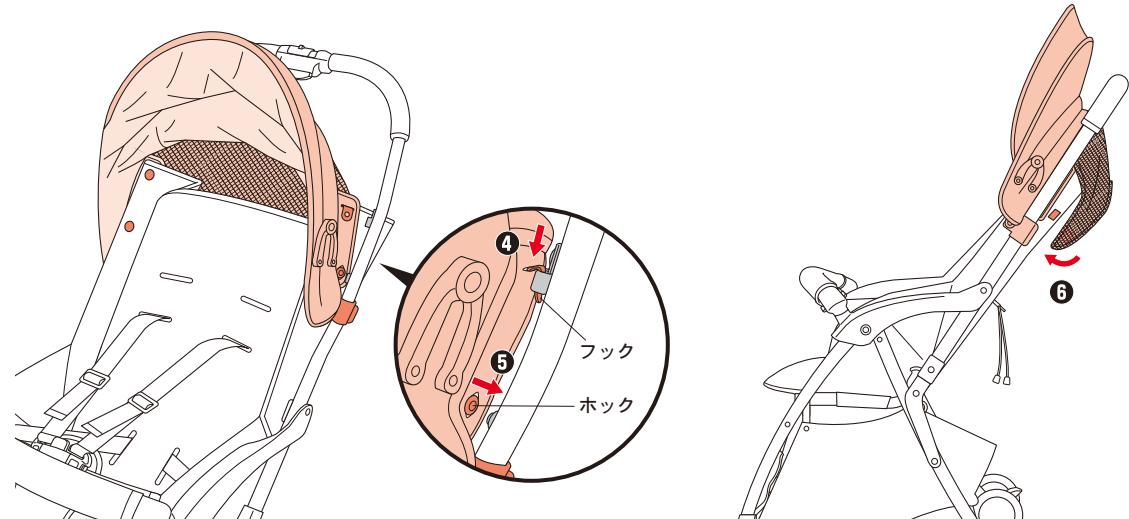


日除けの取り外し方



- ①日除け後部の面ファスナーを外す。
(左右)

- ②背もたれ横側のホックを外す。(左右)
③背もたれ横側のフックを上方に抜く。(左右)
④日除けブラケットを手前に引き、取り外す。(左右)



- ④背もたれ横側のフックをハンドル横側のフックに
かける。(左右)
⑤背もたれ横側のホックをハンドル横側のホックに
とめる。(左右)

- ⑥日除け後部の面ファスナーをとめる。(左右)



- ・日除けは正しく取り付けてください。
開閉不良の原因になることがあります。

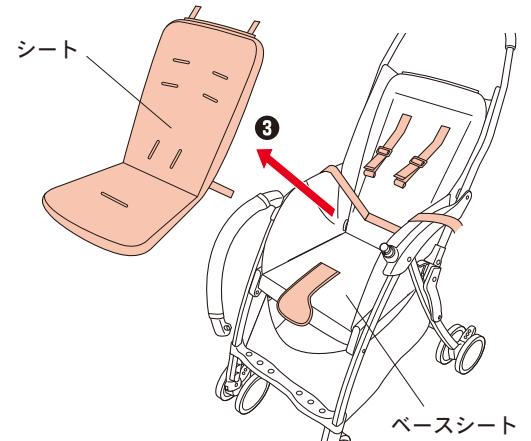
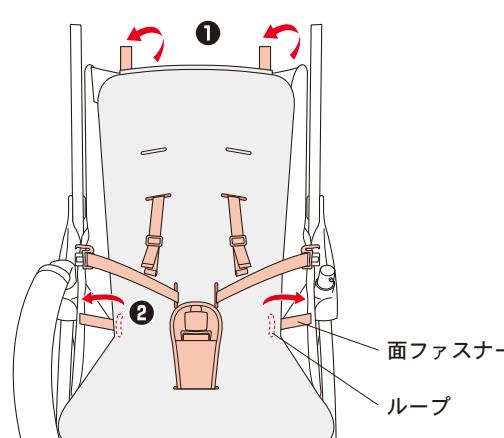
シートの取り外し方

お願い

・シート本体の取り外し、取り付け作業により、爪が傷つくおそれがありますので、ご注意ください。

・フロントガードを外す。(P9参照)

・股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。



①シート上部の面ファスナーを外す。(2カ所)

②シート腰部裏側の面ファスナーを外し、本体のループから抜く。(左右)

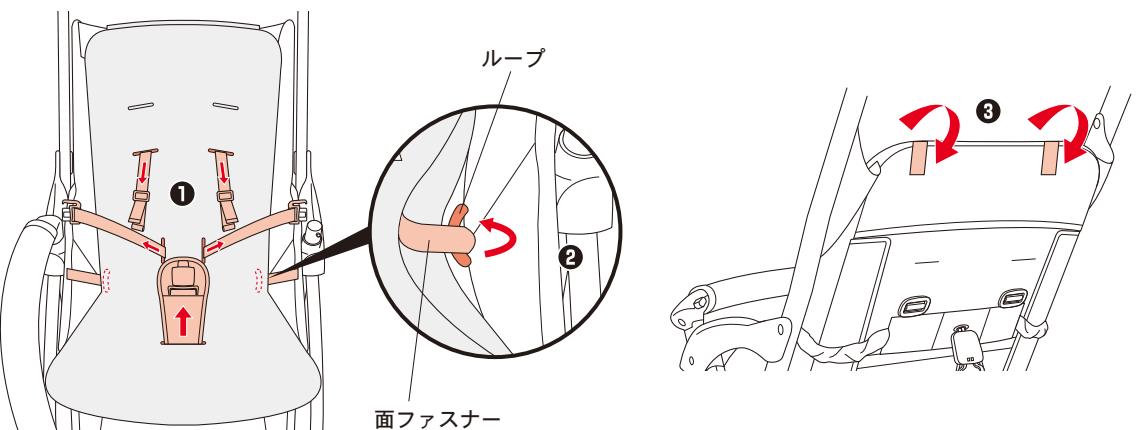
△注意

・ベビーカーのフレームに固定されているベースシートは取り外せません。
ベースシートの固定用ベルトをアームレストから取り外さないでください。

シートの取り付け方

△警告

・シートを外した状態で使用しない。ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思ひぬ事故の原因になるおそれがあります。



①肩ベルト、股ベルト、腰ベルトをシートの通し穴に通す。
②シート腰部裏側の面ファスナーを本体のループに通し、とめる。(左右)

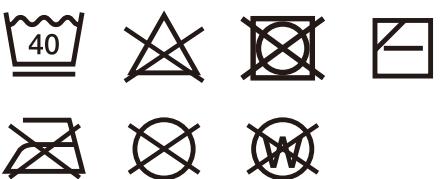
③シート上部の面ファスナーをとめる(2カ所)

日常のお手入れ

縫製品の洗浄方法

〈シート、フロントガードカバー、股ベルトカバーの洗浄について〉

・以下の点に注意して洗濯してください。



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止

・シート洗浄時は、お使いの洗濯機のメーカーと設定によっても異なりますが、しっかり洗うコースなど強い洗濯のコースを避けて、標準やデリケートなどのコースで洗濯を行ってください。

△注意

・縫製品を屋外で干す時は、日陰の平干しにしてください。
・アルカリ性洗剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤を使用しないでください。

〈日除け、肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、カゴの洗浄について〉

・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合
40°C前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を充分に洗います。その後、乾いたタオルなどで充分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合
中性洗剤を40°C前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。
その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで充分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

△注意

・縫製品に破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

車体のお手入れ

〈フレームや車輪のお手入れについて〉

・フレームやバックル、車輪についた泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

・腰バックルの表面に砂鉄などの異物が付着した場合は、粘着テープなどを使用すると取り除きやすくなります。

△注意

・フレームや車輪に泥やホコリが付いたままで使用しない。故障の原因となります。
・泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しない。

・車輪は消耗品です。車輪交換が必要な場合は弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。(車輪交換は有償)

〈ネジ・ナット類について〉

・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合は弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P21参照)

〈フロントガードについて〉

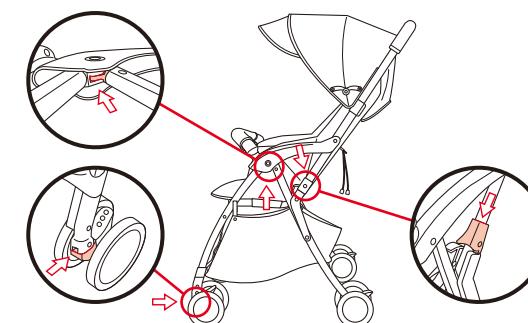
・フロントガード差し込み部についたホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

〈注油について〉

・可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤を使用ください。
・注油の前には、泥やほこりを落とし、充分に水分を拭き取ってください。
・注油は、1カ所につき2~3滴としてください。

△注意

・フロントガードとアームレストの接続部付近及び内部には、シリコン滑走剤などを付着させない。
フロントガードが外れるおそれがあります。



●車体を折りたたんだり、開くのがスムーズにいかない場合や、キャスターがスムーズに回転しなかったり、車輪や車体がきしむ場合は、シリコン滑走剤を図の➡の箇所にさし、開閉操作を2~3回行います。

困った時

・下記の対処方法で解決しない場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P21参照)

〈ご使用中に困った時〉

お気づきの点	対処方法
ハンドルレバーを握って押し込めない時は	ハンドルレバーロックを解除してから行ってください。(P7参照)
前輪キャスターが回転しない時は	キャスターのロックを左右共解除してください。 (P8参照)
前輪キャスターの回りが悪い時は	キャスターにシリコン滑走剤をさしてください。 (P18参照)
ストッパーがきかない時は	ストッパー部に石などが挟まっているか確認してください。
背もたれが起こせない時は	お子さまをベビーカーからおろして、リクライニングコードを引いてください。(P12参照)
ベビーカーが開かない時は	・シートの生地やシートベルトがアームレストや開閉ロックなどのフレームに挟まっているか確認してください。 ・ベビーカー折りたたみ後にリクライニングコードを引いてしまった可能性があります。 リクライニングリングを引いて背もたれを少し倒し(P12参照)、もう一度ベビーカーを開いてみてください。
腰バックルが肩ベルトに差し込めなかったり、腰バックルと股バックルがロックできない時は	衣類などの生地やシートベルトがバックル挟まっていたり、異物がバックルに付着していないか確認してください。
ベビーカーが折りたためない時は	・〈折りたたむ前に〉〈ロックの解除〉を行ってから折りたたんでください。 (P14参照) ・開閉ロック部分にシートベルトが挟まっているか確認してください。 ・日除けが正しく取り付けられていることを確認してください。(P16参照)
タイヤが消耗した時は	タイヤが消耗し、走行に異常を感じた時はタイヤの交換が必要な場合があります。弊社お客様サポートセンターに連絡してください。(P21参照)

〈再利用する時〉

お気づきの点	対処方法
前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は	使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。
ベビーカーにクラック(ひび割れ)や大きな傷がある時は	ご使用になれません。

保管について

- ・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
- ・上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。



- ・日除けの変形を防ぐため、横向きに寝かせたり、上に荷物を置いたりしないでください。
- ・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しないでください。
プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。

廃棄について

- ・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
- ・環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。

SGマーク制度について



SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。

ただし、ベビーカーの場合、ご購入後4年以内の製品が対象となります。

賠償についてのご注意

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害(物的損害)を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。
連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただきます。(原則として60日以内)

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3300

〈事故の届出に必要な項目〉

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ) 製品の名前、SGマーク番号　ロ) 製品の購入先、購入年月
- ②事故発生の状況
イ) 事故発生年月日　ロ) 事故発生場所　ハ) 事故発生状況
- ③被害の状況
イ) 被害者の氏名、年令、性別、職業、住所　ロ) 被害の状況と程度

保証とアフターサービスについて

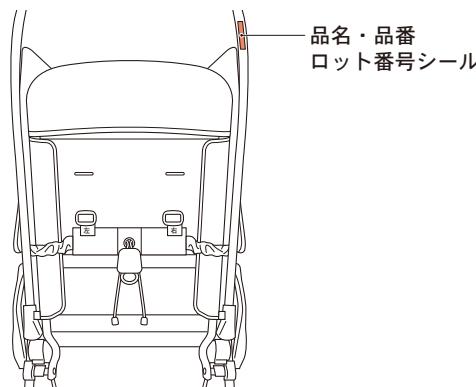
〈保証について〉

- ・保証期間中（購入日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。故障の箇所によっては、修理できない場合がございます。
- ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1ヶ月です。）
- また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。）

〈アフターサービスについて〉

- ・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号（下図参照）をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ハンドル背面側シールの品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



お買い上げ時レシート
貼り付け位置

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ベビーカーお買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。

アフターサービスについての連絡先

ニューウエルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155

受付時間：AM10:00～PM5:00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）